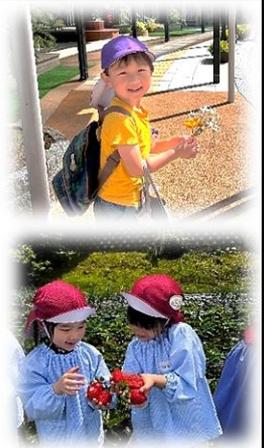




ひかりのこつうしん

「成長させてくださったのは神です」

2025年5月



新緑が鮮やかな薫風吹き渡る5月。 ひかりの子幼稚園
 親子ピクニックでは、お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。 園長 若槻 三記子

子どもたちと一緒に思い切りしっぽ取りやスキンシップ遊びをし、クラス交流を深めて下さって嬉しく思います。
 子どもたちは、少しずつ見通しがもてるようになり、好きな遊びを見つけて遊びこむ様子があります。
 登園では、「ママに会いたいの？」と泣く子に寄り添う子、「一緒に行こう！」と友達に声を掛けあってお部屋に向かう子、バス通園で、居眠りする年少児に自分の肩を貸してあげる子など、微笑ましい姿に胸が熱くなります。

さて、今回はひかりの子が大切にしているキリスト教保育の土台となる考え方について少しお話をさせていただきます。 聖書のみ言葉にこう書かれています。

「成長させてくださったのは、神です。」 コリントの信徒への手紙Ⅰ 3章6節
 土を耕し、肥料や水をあげるの、保護者の方々であったり、保育者や周りの人たちですが、その子を成長させてくださるのは、神様ですという意味です。



子どもたち一人一人は、神様によって特別に造られ愛されているかけがえのない存在です。
 子どもの成長は、保護者の方々や保育者のお世話や援助だけによるものではなく、その奥には、神様の大きな恵みと導きがあります。成長の過程では、お子さんの育ちに不安を感じたり、他の子と比べて焦ってしまったりすることもあるかもしれません。クラス懇談会でも、必ず「いつオムツが取れるのか心配」というお声を聞きます。排泄の自立は、お子さん一人一人の発達の時節が異なります。無理強いすると、かえって心の負担になってしまうこともあります。

園では、「自分でやってみたい！」と言う気持ちを大切に、そのサインを見逃さず、温かくサポートしています。ご家庭でも「いつか必ずできるようになる」と信じて、ゆったりと構えて見守ってあげて下さればと思います。
 子どもが自分の意思をもって行動する時こそ、神様が与えて下さった成長の時なのです。その日を楽しみに待ちましょ 😊 私達保育者も子どもたちのあるがままを受容し、今の時を喜びをもって生きることができるよう、これからも保育に努めて参ります。

 讚美歌『球根の中には』
 球根の中には 花が秘められ
 さなぎの中から いのちはばたく
 寒い冬の中 春はめざめる
 その日、その時をただ神が知る
 ※4月にこひつじ組が歌っていた曲です。
 私の大好きな讚美歌です♥

 各クラスいろんな生き物を育てています。
 こひつじ組のクラスでは、テントウ虫がさなぎから羽化する様子を観察。羽が上手く開かないテントウ虫に「一生懸命や！」「めっちゃがんばってる」「人間だって手や足がなくて、うまれることもあるで…」と小さな命が懸命に生きようとする姿を応援する子どもたち。
 生命の尊さを小さな命から学ばせてもらっています。